

2018年秋学期の全時間訓練のための  
メッセージアウトライン

主題：  
中心的なビジョン

メッセージ 7

神の奥義——すべてを含むキリスト、  
すなわちエホバの若枝、また地の実である方

聖書：コロサイ 2:2-3, 9. 1:15-16, 18. 4:3. イザヤ 4:2

**I. すべてを含むキリストは神の奥義です——コロサイ2:2:**

- A. 神の奥義として、すべてを含むキリストは神の歴史です。神の「ストーリー」全体はキリストの中にあり、またキリストです——ヨハネ1:14. I コリント15:45後半. 啓4:5。
- B. 神の奥義として、すべてを含むキリストは神の定義、説明、表現、すなわち神の言です——ヨハネ1:1. 啓19:13. コロサイ2:2-3。
- C. 神の奥義として、すべてを含むキリストは全被造物の中で最初に生まれた方です——1:15. ヨハネ1:14. イザヤ9:6:
  - 1. キリストは神として創造主ですが（ヘブル1:10）、人としては、創造された血と肉にあずかっています（2:14）。彼は被造物の一部です。
  - 2. この世の基が置かれる前から、何かが創造される前でさえ、キリストが創造された人と成って、神の定められた御旨を成し遂げることを、神はあらかじめ決めました。このゆえに、神のご計画において、また神の永遠の見方において、キリストは最初に創造された者です。すなわち、彼は全被造物の中で最初に生まれた方、創造されたすべての者のかしらです——コロサイ1:15. ミカ5:2. I ペテロ1:20. 啓13:8。
  - 3. 被造物は、キリストの中で、キリストを通して、キリストへと創造されました——コロサイ1:16。
- D. 神の奥義として、すべてを含むキリストは死人の中から最初に生まれた方です——18節。
- E. 神の奥義として、すべてを含むキリストは神の具体化です。キリストが肉体と成り、人の肉体を着た時から、彼の中には、神たる方の豊満が肉体のかたちをもって住み始め、それは彼の栄光の体の中に、今より永遠に住んでいます——2:9. ピリピ3:2 1. ヨハネ20:27-29。
- F. 神の奥義として、すべてを含むキリストは命を与える霊であり、わたしたちの霊の中に住んで、わたしたちと一つ霊になります。彼はわたしたちの霊とミングリングされた命を与える霊として、わたしたちの命であり、またわたしたちのパーソンで

- す——Ⅰコリント15:45後半、Ⅱテモテ4:22、Ⅰコリント6:17、コロサイ3:4、エペソ3:16-17。
- G. 神の奥義として、すべてを含むキリストは、召会すなわちキリストの奥義である彼のからだの構成要素です。肉体における神の現れ、敬虔の奥義である肉体における神の現れは、かしらとしてのキリストご自身だけでなく、からだとしての召会でもあります——コロサイ4:3、エペソ3:3-4、5:32、Ⅰテモテ3:15-16前半、4:7後半。
- H. 神の奥義として、すべてを含むキリストはすべての事で第一位を持っています。すなわち旧創造と新創造において（コロサイ1:18後半）、クリスチャンの生活と経験において（啓2:4、Ⅱコリント5:14-15、ガラテヤ2:20）、クリスチャンの働きとメッセージにおいて（エペソ2:10、Ⅰコリント2:2、Ⅱコリント4:5）です。
- Ⅱ. イザヤ書第4章2節はキリストの二つの面を啓示しています。すなわち、エホバの若枝と地の実です：**
- A. 神は永遠であり、人は地から来ました。「地の実」とは、ちりから造られた人を指します——創2:7。
- B. キリストは神として永遠から来ましたが、人として地から来ました。ですから、彼はエホバの若枝であり、また地の実でもあります：
1. 「エホバの若枝」は、キリストの神格を指し、神の神聖な性質を示しています——イザヤ4:2前半、ヨハネ1:1、20:28、ローマ9:5。
  2. エホバの若枝が予表するのは、キリストの神性だけでなく、神が肉体と成ることを通して、キリストの神性が芽を出し、成長することです——ヨハネ1:1、14、ヘブル1:1-3、2:14。
- C. エホバの若枝は、エホバなる神の新しい成長であり、それは三一の神が肉体と成ることを通して、ご自身を枝出しして、ご自身の増し加わりと拡大となることです——イザヤ7:14、マタイ1:22-23：
1. エホバの若枝としてのキリストは、神が肉体と成ることで、神性の領域から人性の領域へと、彼の神性においてご自身を枝出ししました——ヨハネ1:1、14。
  2. 神が肉体と成ることで、キリストは永遠から時間の中へと入って来ました。古代から、永遠の時代から、三一の神は永遠から出て時間の中へと入って来て、神性と共に、神性の中へと入って来る準備をしていました——ミカ5:2。
  3. エホバの若枝として、キリストにある神が芽を出し、成長することは、キリストの人性における神性のすべての豊富を表現するため、すなわち神性の豊かな属性が、神・人であるキリストの人性において、彼の美德の中へと成長するためです——エペソ3:8：
    - a. 神聖な性質を伴うわたしたちの神は、わたしたちの美しさであり、わたしたちの栄光です——イザヤ60:1、9、13。
    - b. キリストがわたしたちの中に生きているので、わたしたちは神聖な性質にあずかっている者たちです。この意味で、わたしたちは人であるだけでなく、神でもあり、神聖な性質はわたしたちの美しさであり、わたしたちの栄光です——ガラテヤ2:20、Ⅱペテロ1:4。
- D. 「地の実」とは、人の性質を伴うキリストの人性を指します——イザヤ4:2後半。

ルカ1:42 :

1. 地の実として、キリストは人の血と肉を持つ人として地から生まれました。永遠がキリストの神性の源であるのと同じように、地は彼の人性の源でした——ヘブル2:14。
2. 地の実としてのキリストは、人性における神聖な命の増殖と複製のためです——ヨハネ12:24 :
  - a. 神はご自身において、彼の神性において増殖する道を持ちません。
  - b. ご自身の増殖と複製のために、彼は人性を必要とします。人性は、三一の神が増殖し、複製されるための土壌、地です——20:17. ローマ8:29. ヘブル2:10-11。
3. 神の子供たちとして、わたしたちはキリストの美しさと栄光を神聖な方法で表現し、またキリストの卓越性と光輝を人間的な方法で表現する生活を生きるべきです—— I コリント10:31. ピリピ1:11, 20。
4. 正常なクリスチャンは神聖でもあり人間的でもあって、イエスの神聖な美しさと栄光を持ち、またイエスの人としての卓越性と光輝を持っています——8-9節. I ペテロ2:12。

© 2018 *Living Stream Ministry*